

JEAS News

vol. 41

2024 夏号

総会（来賓挨拶・新理事・新会員・職業専門委員等）ご紹介
ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

☆なるほど!万引防
止・ロス対策情報は
JEAS Facebook



☆月2回定期配信
ロス対策メールマガ
ジン



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会



感謝状贈呈



新理事・新会員・職業専門委員

新役員、新会員、推薦製品記念写真

認定個人情報保護団体

工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News

第41号

目次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	3
工業会日本万引防止システム協会令和6年度通常総会開催概要	4
あいさつ 総務省総合通信基盤局電波部電波環境課 課長補佐 水井 健太 様	4
あいさつ 個人情報保護委員会事務局 企画官 大星 光弘 様	5
あいさつ 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之 様	5
あいさつ 国土交通省鉄道局 総務課危機管理室危機管理室長 坪原 和洋 様	6
感謝状贈呈の皆様からの受賞コメント	7
総会・職業専門委員認定式を代表して	8
記念講演会「私だってできるロス分析方法」「塀の中のおばあさん」の取材で感じたこと	8
令和6年度事業計画	9
推薦製品の紹介	11
セキュリティショー2024 JEAS ブースとセミナー	11
交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト発足	11
JEAS セミナー「サイバー情勢を学ぶ」	11
JEAS 個人情報保護指針第4版徹底理解オンラインセミナー	11
新理事あいさつ	11
新会員あいさつ	11
2023年万引防止システム市場規模調査、15分勉強会	13
ロス対策土情報と JEAS 報奨制度について	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
事務局長編集後記	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	15
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野: 電子商品監視機器 (EAS)、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置 (地方税)」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>
- (4) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2025年3月末日まで延長されています。
詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>



JEAS Facebook も絶賛公開中!
<https://www.facebook.com/JEAS.JAP>



通常総会あいさつ

ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界
合言葉は‘協働防犯’



工業会 日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範

皆様こんにちは 稲本です。

みなさまのお蔭を持ちまして工業会設立23年目を迎えます。オンラインを含めて本日は本当にたくさんの皆様ご参加いただいております。3点お話しさせていただきます。

1点目、まずはこの議案書の表紙です。今年の総会後に嵐と線状降水帯の下、雨にもマケズ、筑波山に行った際の写真です。コロナ禍をようやく通り抜けたんだ。という感じを皆で持ちました。その時から、合言葉、ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～でこの1年がんばってきました。新たに9社をお仲間として迎えました。

2点目、但し、その努力は単に規模の拡大を目指すのではなく、この4つの検定制度にパンフレットにあるようなAIなどを活用した良い製品を広めるための推薦製品検定制度、良い顔認証システムの認定制度、それを活用する科学保安員検定制度、セルフレジ不正対策マニュアル作り、個人情報を漏えいしない廃棄や転売方法の徹底などに力点を置いてやってきました。時にその基準はNHK ニュースや読売新聞や朝日新聞などのメディアに取り上げられました。

3点目、JEASは毎月、勉強会やセミナーをやっています。やらなかった月はありません。さらには情報交流やビジネスマッチングも積極的に行ったことで、会員間の関係性が強まり、新たなソリューションを生み出されています。そのベースとなるのは先輩諸氏より学んだ技術です。この総会では諸先輩の職業専門家を工業会認定の職業専門委員に初めて認定します。現場を支え続けた職業専門家には、人々の安全安心のため、脱法思考を排除し、官民で基準を作りその順守を全うしようとする「永劫の使命」が宿ります。7月発出予定のJEAS個人情報保護指針第4版にも、この永劫の使命が織り込まれております。ご期待下さい。

いままで申し上げたすべての活動に感謝し、その恩送りとして、8月2日に電波つてすごい👉ゲルマニウムラジオ手作りセミナーを開催します。これがそのパンフレットになります。子供達20名と「電源不要のラジオ製作の言い知れぬ感動」を共有したいと思います。その体験を通し電波利用や科学技術への興味を深めてもらいたいと願っております。

このように我々工業会 JEASは産業的・社会的役割を確かな形で次の時代へと紡いで参ります。皆様、引き続きのご指導・ご鞭撻をお願いします。以上です。

第3部 意見交換会挨拶

お陰様で第1部、第2部はつつがなく終了いたしました。工業会 JEASはロス対策などの職業専門集団です。雪の中で東に万引で困っているドラッグストアがあれば万防機構ロス対策年間チャートをもってその原因を調査し、日照りの中で西にセルフレジ不正で困っているスーパーがあればJEASセルフレジ不正防止冊子を鞆に入れ出かけます。我々JEASの活動は裏方の仕事です。すぐには結果が出せないで苦しみことも多い我々に、ご来賓の皆様より、温かなお言葉をかけていただければ幸いです。

なお、葉梨衆議院議員は法務大臣や法務副大臣時代、再犯防止のための地域定着支援センター設立や各刑務所の処遇改善に尽力された方です。お顔をお見掛けすると「私はこれからの福島の女性刑務所で講演します」「僕はあさって福島の男性刑務所の視察に行く。少しでも良くなるように頑張ろう」と話し合った間柄なので、感謝をもってお招きいたしました。

本日は限られた時間ではありますが、いえ、限られた時間だからこそ、会員各位には、同じ方に名刺を2枚渡すくらいのパワーでこの意見交換会を有効にご活用ください。以上です



工業会 JEAS 事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7F

西暦2024年度

工業会日本万引防止システム協会令和6年度 年度通常総会開催概要

……ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～……

- 日時 2024年6月7日(金) 13:30～(受付開始13:10)
- 主婦会館プラザエフ 第1・2部 9Fスズラン 第3部 8Fスイセン
- 第1部 総会 (13:30～14:45) <9階スズラン>
 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議長選出
 4. 議案
 - 第1号議案: 令和5年度事業報告、収支決算の件
 - 第2号議案: 職業専門員制度の発出
 - 第3号議案: 令和6年度組織・人事の件
 - 第4号議案: 令和6年度事業計画、収支予算の件新役員挨拶、新会員への会員証授与、記念写真
 5. 閉会 (14:00頃を予定)
 6. 2023年万引防止システムの市場規模の報告感謝状贈呈
株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
リスクマネジメント本部 危機管理部 部長 後藤 信明様
ミネ医薬品株式会社 常務取締役 富澤 勇様
アイアンドティテック株式会社 代表取締役社長 田口 秀勝様
株式会社店舗プランニング 代表取締役 飛永 泰男様
 7. 来賓挨拶
総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 水井 健太様
- 第2部 記念講演会 (15:00～16:45) <9階スズラン>
 1. “私だってできるロス分析方法” ミネ医薬品株式会社 常務取締役 富澤 勇様
 2. “「塀の中のおばあさん」の取材で感じたこと” 読売新聞社東京本社 編集委員 猪熊 律子様
 3. 来賓挨拶 個人情報保護委員会事務局 企画官 大星 光弘様
- 第3部 意見交換会 (17:00～18:30) <8Fスイセン>

会長挨拶

来賓挨拶 元法務大臣・衆議院議員 葉梨康弘様
経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之様
国土交通省鉄道局 総務課危機管理室危機管理室 室長 坪原 和洋様

乾杯 日本小売業協会副会長・(一社)全国スーパーマーケット協会 副会長 増井徳太郎様
中締め 副会長・セフトHD株式会 代表取締役社長 山根 久和

総会 第1部 来賓挨拶

総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 水井 健太 様



総務省の水井と申します。本日御総会が盛大に行われましたこと心よりお喜び申し上げます。

さて、携帯電話が5Gになりました。ますます身の回りの電波の利用は進んでいきますし、無線設備もどんどん増えていく状況でございます。無線機器の性能向上はもちろん大事なことです。それに加えて電波が安心・安全に使える環境を整えていくこともますます重要になっているところでございます。総務省では科学的な根拠を基に、電波の安全性の基準である電波防護指針を作っております。また、医学的・生物学的な影響に関する研究も行うとともに、電波の安全性に関する普及啓発も行っているところでございます。

JEAS様は、適正な盗難防止システムに、EASのステッカーを貼る取り組みをされております。私も買い物に行くと、よくEASステッカーを見かけます。これにより、ペースメーカー等の医療機器を利用されている方が、ここから電波が出るんだなということが分かりますので、まさに安心安全の電波環境の実現に資する取組を実施いただいていると思います。業界が率先して安全管理に貢献いただいている例だと思っております。

総会の冒頭、稲本会長から、JEAS様は、法令を遵守し、官民が連携して進めていくという使命をお持ちだ

とお話がありましたが、そういう思いで活動をされている JEAS 様に敬意を表します。

同じく稲本会長からご紹介がありましたお子様向けのゲルマニウムラジオ手作りセミナーの件ですが、実は私も学生時代に鉱石ラジオを作りました。電池がないのに音が聞こえることに、すごく感動したことをよく覚えております。このような電波利用の啓発活動に取り組んでおられる点にも敬意を表します。

最後になりますが、JEAS 様と傘下の皆様のますますの発展を祈念しまして私の挨拶とさせていただきます。

ゲルマニウムラジオ手作りセミナー

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240802-2.pdf>



総会 第2部 来賓挨拶

個人情報保護委員会事務局 企画官 大星 光弘 様

(現在、経済産業省 大臣官房 福島復興推進グループ 室長 福島事業・なりわい再建支援室)



あらためまして、個人情報保護委員会事務局の大星と申します。本日、こうして通常総会、記念講演が盛会に行われたことをお慶び申し上げます。私どもは常日頃から御協会とは防犯カメラに映る個人の映像、それは個人情報に該当いたしますけれども、この取り扱いについていろいろご相談させていただいている組織でございます。

今日の感想ですけれども、まず富澤様の商品ロスについてですが、店舗の賑わいとロス対策の両面を両立させることは難しい側面があるのかなというふうに、感じているところでございますが、今日のお聞きした棚卸在庫の分析においては、問題点が可視化され新たな対策につながるのではないかと期待を持ちました。

猪熊様のお話でございますけれども、笠松とか福島ですね、現場の刑務所に訪れて、ほとんどの方が知らないようなことを言葉にして、多くの人に対して表現することは、報道として非常に重要だというふうに感じました。

最後となりますけれども、時代とともに法律の見直しが必要になっております。例えば、外国人が増えている中で、例えばあの渋谷区ではですね、路上の飲むことについて注意するようなことができるような条例などできましたけれども、防犯の内容が変わっていく中で、私ども個人情報という観点からも御協会と今後も連携させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

総会 第3部 来賓挨拶

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐
(軽電、計測機器、制御機器 等 担当) 籠 寛之 様

経済産業省商務情報政策局情報産業課、籠といいます。本日は、工業会日本万引防止システム協会意見交換会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。また、本日は貴工業会の総会が無事に終わられましたこと、お喜び申し上げます。1月1日に能登半島で発生した地震につきまして、被災地への必要物資の送付等、ご尽力いただきました皆様には心から御礼を申し上げます。まだ復興は半ばでありまして、引き続きご協力できましたらよろしくお願いたします。

直近の我が国の経済状況につきまして、円安が進みつつある状況ですが、デフレ構造から新しい経済ステージへ移行するチャンスでもある、と言うことができます。現在は賃上げ機運がありまして、これを波及させて、これまでの「コストカット型経済」から「投資も賃金も物価も伸びる成長型経済」への転換にできないかと考えています。この賃上げ原資を生み出すには、「稼ぐ力」の強化が必要不可欠であり、民も官も一歩前に出て、国内投資やイノベーションの促進に取り組みことが重要と考えています。

このようなことを前提に、当省および当局につきまして、最近の動きとしまして、すべての産業や社会において、家電やスマホを見ればわかりますが、デジタル化が加速度的に進展しております。我が国の社会課題で

ある地方創生や少子高齢化などの解決につながるとみえています。デジタル基盤の整備は、欧州、アジアなど他国でも重要であるところ。我が国は、これをスピード感と内容でもって実現したいところです。

デジタル基盤を整備するためには、半導体や生成 AI などの進捗が非常に重要です。当課の一丁目の施策がありますが、現在の通常国会でもいろいろな観点から取り上げられています。

半導体の動きは、最近も相変わらず活発です。大本として、国内は現在も半導体不足の状況は続いております。その対応に奔走をさせていただくと同時に、次世代の半導体の研究開発にも力を入れています。本年2月の TSMC 熊本の工場開業はかなりの注目がありました。ラピダスの動きも活発であります。4月には岸田首相米国訪問等の要人による海外訪問時の関係者との会談等も注目されました。このような半導体の製造そのものの投資が目立つところですが、今後は、家電や医療機器等のユーザー産業の側が、どのように半導体を使いこなして新たな新製品の設計につなげていくのか、設計領域を接着剤と考えて、半導体のメーカーとユーザーが距離感を詰め、商品開発・設計に関する議論が活発化していくようなことを期待しています。

生成 AI についても、最近急速に動きが活発化しています。これは数十年に一度の技術革新と言われております。大量のデータから特徴を学んで認識や予測を行うものであり、このためには、情報処理基盤の構築や、データセンターの分散立地をはじめとする高度情報通信インフラの整備などの取組を包括的に進めることが重要。計算資源（スパコン）、リアルデータの収集。これは大きな武器になります。そして消費電力も膨大に増加するという、電力需要も膨大になることも特徴です。送配電の投資はカネも時間もかかると聞いています。これらの議論が省内外で始まっているときいております。この生成 AI 開発等いろいろとお手伝いしていきます。

半導体にも言えることですが、これらの分野は今後かなり人材育成等が重要になると考えられています。デジタル人材の育成といえるもの。他省庁等とも連携していきます。

我が国の脱炭素社会を進めるため重要度を増す GX（グリーントランスフォーメーション）につきまして。近年では、サーキュラーエコノミーといった考え方も、急速に普及しています。様々な商材をただ販売するビジネススタイルよりも、効率的にリサイクルしたりシェアしたりする方が、利益率が高くなるとともに地球にも優しい、という新しい考え方が、背景にあります。商売のヒントにつながるとも考えています。

日本国際博覧会（大阪・関西万博）（EXPO 2025）が、来年2025年4月に開幕します。我が国の英知を結集させ、未来につながることをお見せするこの万博につきまして、企業・団体がこれまでの万博よりもさらに幅広い参加ができるように、多様な参加の枠組みが計画されております。産業界の皆様におかれましても、ぜひ積極的な参画をお願いします。

貴工業会は、当省とはこれまで、防犯カメラ、ゲート機器などを中心として関係をもっていると考えています。これらの機器により、我が国の安全を保つことができるものと考えます。

令和5年は全国の刑法犯認知件数が増加に転じたということ。これは残念であり、今後はその対応が重要になると考えます。画像や文字の AI 利用についても行われていると聞いています。顔認証システムも含めてこれらの機器は増加傾向であると聞いています。さきほども少し述べました生成 AI による技術が重要になるのかと考えます。少しでも社会に役立ち、我が国の安全を保つことができるものと考え

ます。今後はよい方向性に向かうことを期待したいです。

今後の工業会日本万引防止システム協会並びに関係者皆様のますますのご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

総会 第3部 来賓挨拶

国土交通省鉄道局 総務課危機管理室危機管理室長 坪原 和洋 様



冒頭でございますが、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震に関連してお亡くなりになられた方々に心からご冥福を申し上げますとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

現在、政府一丸となって、復旧・復興に向けて全力を尽くしているところであり、未だ被災の影響が大きい中ではございますが、国土交通省も総力を挙げ、関係省庁と連携して引き続き生活再建に向けて尽力してまいります。運輸・建設等の事業者の方々をはじめとする国民の皆様にはその過程で多大なご尽力をいただいているところありますが、何とぞ引き続きの御協力をいただけますよう伏してお願い申し上げます。

工業会日本万引システム協会（略称 JEAS）様が、カメラと万引防止機器の工業会として成長されてきてい

ることは、現在の治安状況の改善のみならず、防犯カメラに係る様々な課題の最先端の地平を真っ先に切り開いていただくことにより、将来の我が国の安全安心についても多大なご貢献になるものと確信しております。

さて鉄道は日々の国民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であり、国民がテロや犯罪の脅威を感じることなく安全で安心して鉄道を利用できることは重要な課題であります。他国から来た方が驚くことの一つに「電車の中で居眠りをしている人がいる」がありますが、それだけ我が国の鉄道は安全で安心な場所として旅客の皆様にご認識してもらえているということに他ならず、その信頼は我が国の鉄道の宝として引き続き守っていく必要があります（もちろん電車の中での居眠りは推奨いたしません。防犯のみならず寝過ぎないためにもできれば目を覚まして乗っていただけるとありがたいです。）。

しかしながら、ご承知のとおり令和3年8月6日の小田急車内傷害事件や同年10月31日の京王線車内傷害事件など、乗客の安全を脅かす事件が相次いで発生し、鉄道車内の各種犯罪行為に対する社会的な関心や対策への要請が高まっております。そこで、他人に危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止する効果をも高める観点から、首都圏・関西圏等の大都市圏を走る車両の車内防犯カメラの設置を義務づけたところです。加えて、事業者については、自主的に義務化対象外の路線の車内にも防犯カメラを設置、リアルタイム通信機能のある防犯カメラの車内への設置等の措置を講じているところもあり、鉄道の宝を守ってほしいという旅客の声に応えようと全力を尽くしております。

また、鉄道構内における防犯カメラの設置やネットワーク化も東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として進展しており、鉄道テロ・関連犯罪の対策において防犯カメラは中核的な役割を果たしていることは論を俟ちません。さらに少子化への対応という観点からも防犯カメラを含む各種センサー類を効果的に活用することによる鉄道業務の省人化は喫緊の課題となっております。

ここに興味深いデータがあります。東京都が令和5年12月に公表した痴漢被害実態把握調査においては、痴漢撲滅に向けて効果がありそうな取組として「防犯カメラの設置」を7割以上が挙げており、他の取組を優に上回っております。設置に向けての旅客の理解は「私たちの安全を確保するためにむしろ設置してもらわないと困る」と考えるレベルに至っていると言っても過言ではないでしょう。

しかしながら、こうした期待は旅客のプライバシーが守られてこそということでは忘れられてはなりません。施設内で防犯カメラによって撮影されていることが旅客に原則として示され、それが旅客の安全を確保するために必要であることにご理解をいただく努力は常に必要であります。また、保管しているデータが漏洩したり、旅客の理解を得られない目的に勝手に流用されたり、旅客が保管されることを望まない国・地域にデータを保存するサーバーが勝手に設置されているといったことがあります。こうした好意的な声は一転して非難の声となることは自明の理です。旅客が防犯カメラの設置を認めているのはあくまでも安全の確保に結びつくからであり、その情報をどのように取り扱ってもいいというフリーハンドを事業者に与えているというわけではないことはいくら強調してもしすぎるということはありません。

その意味では「防犯民主主義」を掲げられ、個人情報保護法等を遵守し、利用者の理解を進めることに常に留意されている JEAS 様の取組は今後の鉄道における防犯カメラの普及等の取組において大変に参考になるものと承知しております。

国土交通省は、鉄道事業者と連携し、これからも旅客の安全安心を確保していくために防犯カメラの普及やその技術の高度化を推進し、鉄道の宝を守り抜く所存ですが、ここにお集まりの JEAS の皆様の忌憚のないご意見をいただきつつ、より効果的な取組としてまいりたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

感謝状贈呈の皆様からの受賞コメント

◆株式会社バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

リスクマネジメント本部 危機管理部 部長 後藤 信明 様

ドン・キホーテの後藤でございます。いま稲本会長より大変なお褒めの言葉をいただきましたが、いつも本当好き勝手なことを言って、皆様にご迷惑をお掛けおかけして思うんです。なんでも挑戦したいと思い、失敗をたくさんしました。しかし、その失敗を糧に、皆様の協力をいただきながら、必ず成功させたいという思いでがんばってきました。これからもよろしく申し上げます。

◆ミネ医薬品株式会社

常務取締役 富澤 勇 様

稲本様とは全国万引犯罪防止機構の LP 制度作成委員会の活動でも一緒に活動させていただいております。私ごとですが、こういったロス対策の活動に生きがいを見出しておりましております。今後も続けたいと希望しておりますので、よろしく申し上げます。

◆アイアンドティテック株式会社

代表取締役社長 田口 秀勝 様 (代理・三宅正光副会長)

三宅です。先日、大阪で田口社長と会ってきました。今回ぜひ出席したかったのですが、体調があまり良くないので、皆様に有難うございました。とお伝えたいと話されていました。田口氏は初代の事務局長です。当時は同業界でなかなか会う機会がない人たちが集まってですね、その人たちをうまくまとめていくってことで、ずいぶん苦労されたんですけども、今こういうふうですね。JEASが工業会として成長していることを非常に喜んでおりました。

◆株式会社店舗プランニング

代表取締役 飛永 泰男 様

店舗プランニングの飛永でございます。2020年の2月より、新型コロナウイルスの報道があり、マスクの確保、それからアルコール消毒液の確保。体表面温度を測るサーモグラフィーの利用が始まったのですが、基準も標準化も何もない中で、稲本会長の方から、基準を作る必要があるのではないかとということで、プロジェクトリーダーに指名いただき、皆様の協力をいただきながら、用語と基準が記載された共通の冊子も作りました。コロナは第五類になりましたが、ここに来てまだまだ感染者も増えているので。今後もしっかりとした管理が必要だと思います。私の方から改めまして稲本会長と皆様に感謝をお伝えしたいと思います。※感謝状の文面はセキュリティ産業新聞の2024年7月10日に公開されています。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240710.pdf>

総会・職業専門委員認定式を代表して

新たな制度として、業界に長らく貢献し後進の模範とされている方々を「職業専門委員」に認定する制度を発令し、15名の方々を選任しました。その中より1名の方のコメントを紹介します。



ネクストウェア株式会社 代表取締役社長
株式会社 OSK 日本歌劇団代表取締役社長 (研修所所長)
一般社団法人ソフトウェア協会
副会長・地域デジタル推進委員会委員長

豊田 崇克 様



豊田社長：ネクストウェアの豊田でございます。私どもはAI顔認証ソフトウェア「SAFR」による万引防止システムの開発をさせていただいております。今年は多様なお引き合いを頂き益々頑張っております。平素、私はソフトウェア協会の副会長もさせて頂いている中で、これらソリューションにおいても個人情報保護との関係性を遵守しながら進めて行く重要性をソフトウェア協会としても認知しております。良いシステムを作っても法規制の観点から海外に輸出できないという問題が生じぬよう、この観点からも皆様といっしょに、ソフトウェア協会とネクストウェアとしても対応していかねばと考えております。引き続きよろしくお祈りいたします。

稲本会長：豊田社長はかのOSK日本歌劇団の社長でもあります。NHK連続テレビ小説のブギウギ効果もあってチケットが即完売となっております。

豊田社長：公演情報は早めにお伝えし、皆様に観劇いただけるよう尽力します。

稲本会長：私は「へぼ侍」を観劇させていただき泣きました。あんなに素晴らしい作品を見たことがありませんでした。是非ご家族でご覧いただきたいOSK歌劇団です。

豊田社長：有難うございます。



通常総会・記念講演会

1. 「私だってできるロス分析方法」

ミネ医薬品株式会社 常務取締役 富澤 勇 様

ロスを分析するにあたってまず必要なのはデータです。年2回の棚卸でデータは得られますが、実はそのままでは使えません。他のデータとの組み合わせでの調整が必要になります。また、店舗現場は当然のことですが売上や客数などの営業成績を重視しており、不明ロスの分析と対策に対する取り組みは、なかなか店長には理解が得られませんでした。

また、私一人で行うのも実際にできることが限られました。それでも、対象を絞り込んで、最初に集計用のデータを棚卸とそれ以外のデータも含めて分析可能な状態に調整をお



こないました。本来ロスは売価で集計すべきですが、店舗現場と目線を合わせるために原価で集計し、販売実績も考慮することにしました。

全部ではなく調査分析対象をロス金額とロス率の二つの指標から選定しました。特定カテゴリ別の分析から明らかになった、そのカテゴリについてロス率の高い店の対策が必要と考えました。実はロス率はカテゴリ別には大きく異なります。例えば化粧品はロス率が高く、洗剤などの日用雑貨などは低くなります。

分析結果を店舗で使えるようにカテゴリ別にグラフ化し、対象店舗と全店でのカテゴリ別の差異を示して、対策が必要なカテゴリがわかるようにしました。店長の本音は「不明ロス対策はできればかわりたくない」余計な仕事です。ですからそこには工夫が必要です。つまりできるだけポイントをわかりやすいようなリストを作ることを目指していますが、まだ改善の余地があると考えます。

例えばアイテム別のリストの場合は、販売実績も併記する、ロスの少ない大カテゴリは割り切って省略、大カテゴリ別に、グループ単位でのロスの多い順として優先度の高いものがわかるようにしています。

このような数値分析は重要ですが、やはり店舗現場に足を運ぶことは重要で、気づきが多くあります。例えば「ルールで防犯タグをつけることになっているが、防犯タグをつけるが困難な小さな商品がある」「死角に高級な単価の高い商品が無防備で陳列されている」「想像できなかった大型の商品が万引にあうことがある」などです。

また、違和感を感じることもあります。例えばセルフ陳列していない商品にロスがあることです。特定の商品ではなくまんべんなくロスが発生しているのには不自然さを感じるのです。これは内部不正を疑わせるものです。

最後に少々宣伝をさせていただきます。私がかかわらせている万防機構から「ロス対策テキスト ver. 2」が発行されます。ぜひお手に取っていただければと思います。

※総会資料に富澤様の資料が保存されております。<https://www.jeas.gr.jp/20240607.zip>

2. 「塀の中のおばあさん」の取材で感じたこと

読売新聞東京本社 編集委員 猪熊 律子 様

これまで何度も女性刑務所を取材する中で、知ったこと、感じたこととお話したいと思います。高齢受刑者の罪名の6割は窃盗ですが、女性の場合は9割近くが窃盗です。その多くはいわゆる万引です。取材をしてみますと、生活苦やストレスに加え、お金の不自由をしていないけれども、万引をするときの胸のどきどきが忘れられなくてといった人もいます。全体的には経済的な不安に加えて、家庭で居場所がなかったり、生まれ育った環境が厳しく、DV（家庭内暴力）を受けていたり、自己肯定感が低かったりという人が目立ちます。



昨今65歳以上の高齢の女性受刑者の増加ぶりが目立っていて、女性受刑者全体の2割を占めます。これは約30年前と比較して約10倍になっています。人生の終盤を迎えた女性たちが厳しい寒さや暑さにさらされ、自由を奪われるこの場所（刑務所）に何度も来てしまうのはなぜなのでしょう。

高齢の受刑者の中には、刑期を終えて社会に出ても、また犯行を繰り返してしまうということが珍しくありません。それは社会での疎外感や孤独があるからです。取材した80代の受刑者からは「出所してもテレビを見ているだけならこの方が楽しいと思ってしまうかも」という言葉が聞かれました。

司法、福祉、精神医学、社会心理学などさまざまな分野が連携して予防を講じるとともに、精神的・経済的自立を目指せる社会保障のしくみ、つまりセーフティネット機能が必要といえます。また、社会がもたらす生きづらさや、成育環境の厳しさという点にも、私たちはもっと目を向ける必要があるのではと思います。本人たちの自覚が必要なのはもちろんですが、社会の生きづらさがある限り、塀の中に何度も戻る現状は続いてしまうだろうと思われるからです。

女性は男性に比べて長生きなのに、子育てや介護などの家庭責任を負わされがちのため、低賃金・低年金になりがちです。社会保障のさらなる役割が期待されます。人口減少、高齢化が進む中で、国民がこの問題により関心を持つことを期待しております。

令和6年度事業計画

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会の実現に向けて JEAS の役割を果たそう！

防犯民主主義実現の旗の下、EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等

の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

テーマ：ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・セキュリティショー大阪2024にブース出展 10月17日～18日
 - ・セキュリティショー2025にブース出展、セミナー開催 3月12日～15日
 - ・60社加盟記念少年向け『電波ってすごい ゲルマニウムラジオ手作りセミナー』8月2日<新>
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動
 - ・通常総会記念講演会 6月7日
 - ・2024年度ロス対策年間チャートの制作と配布4月2日
 - ・日経万引対策ビデオ視聴と年間チャート活用セミナー4月22日
 - ・新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会FBやメルマガでの各社紹介
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会/JEASメール/JEASフェイスブック/X/新聞連載等での情報提供
 - ・第8回JEAS検定講習会を7月25日
 - ・第4回科学保安講習会開催11月15日 第4回科学保安前講習10月(ネットで自己学習)
 - ・心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EASステッカーやEAS導入店表示POPの普及促進、北大での干渉テストの継続実施
- 4) 無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査
 - ・DX推進プロジェクトの継続、DX推進流通業の視察
 - ・AI関係やDX推進の団体やコンソーシアムとの連携
 - ・ITパスポート、IoTシステム技術検定、G検定、リテールAI検定、ロス対策士取得推進<新>
- 5) 機器の信頼性アップのための対策推進
 - ・第5回推奨顔認証システム検定の審査5月募集開始 試験日：9月9日(月)～9月11日(水)
 - ・顔認証導入店告知や推奨顔認証ステッカーの普及促進
 - ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得
 - ・最新サイバー情勢を学ぶセミナー(講師：公安調査庁)5月10日<新>
- 6) 解除器の盗品流通防止活動
 - ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続
- 7) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
 - ・個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力
 - ・JEAS個人情報保護指針第4版へ改訂作業(丸の内総合法律事務所業務委託)<新>
- 8) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動
 - ・2023年市場規模調査報告書の発表
 - ・交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクトの発足<新>
 - ・JEAS推薦製品認定のための検定制度の継続
 - ・企業間の協働防犯の推進!即時情報や分析データの共有をネットも含めて進める。
 - ・海外から来られた新たな仲間の紹介の強化
 - ・ロス・プリベンション教育の推進(ロス対策士合格者報奨制度、新テキスト無償配布など)
 - ・職業専門委員制度の発出<新>
- 9) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
 - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省等と連携
 - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体等と連携

推薦製品の紹介

株式会社杏林社のワイヤレス防犯ブザー「ショーケースガード」が工業会 JEAS「推薦製品」のシステム・サービス審査「推薦条件」に合格されました。

<https://bouhan-kyorinsha.com/product/showcase/92/>



セキュリティショー2024 JEAS ブースとセミナー

3月12日（火）～15日（金）開催のセキュリティショー2024にブース展示してました。3月14日（木）にはセミナー「ロス対策&販促アップ！ディスカウント店やドラッグストアの凄技」を開催しました。どちらも多数のご参加をいただきました。

The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines

SECURITY SHOW 2024年3月12日(火)～15日(金) 東京ビッグサイト

日経セキュリティショー2024 JEASブースとJEASセミナー「ロス対策&販促アップ！ディスカウント店やドラッグストアの凄技」よ

合言葉は「挑戦し続ける」
2024年3月14日(木)

～防犯民主主義実現に向けて～
EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会 JEAS

工業会 1
日本防犯システム協会
認定個人防犯機器協会

交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト発足

4月19日（金）『第1回交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト』を国土交通省の方々と当会員の計25名で開催しました。今後も公共交通機関及び隣接する商業施設の保安強化に向けて継続的に開催します。当日の様子 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240419.pdf>

JEAS セミナー「サイバー情勢を学ぶ」

5月10日（金）技術セミナー「最新版 サイバー情勢を学ぶ」を公安調査庁 調査第二部第一課サイバー特別調査室 室長を講師にお招きし開催しました。

JEAS 個人情報保護指針第4版徹底理解オンラインセミナー

6月25日（火）に理事会主催の「JEAS 個人情報保護指針第4版徹底理解オンラインセミナー」を開催します。JEAS 個人情報保護指針第4版案を近日公表する予定です事前に防犯・商業・海外クラウド・AI・民主利用までを内包する唯一無二の保護指針の徹底理解を図りました。講師は丸の内総合法律事務所 弁護士 木村一輝先生と個人情報管理室長です。

新理事あいさつ

D X推進プロジェクト委員 日本NCR コマース株式会社

マーケティング本部 マネージャー 井上 謙二 様

この度理事を拝命する事となりました。どうぞ宜しくお願い致します。日本NCR コマースは、日本で初めてレジスターを輸入した商社をその前身の一つとし、米国NCR Corporationの日本法人として1920年に創立。それまで日本に存在しなかった「金銭登



録機」の普及をはじめとして、日本初のスーパーマーケット開店の支援、日本初のセルフレジ導入、日本初の金融機関向け税公金セルフ収納機ソリューションの展開など、常に時代の先端を行くテクノロジーを駆使し、流通・金融業界に革命をもたらしてきました。外資系企業のパイオニア的存在であり、今でいうグローバル経営を大正時代から実践。たえず「革新」に挑み、社会の「信頼」を獲得する努力を続け、現在104年目を迎えています。

弊社は、セルフレジの導入促進における重要課題である、不正利用と誤操作の検知・抑止を可能とする、画像認識を活用したソリューションを発売致します。セルフレジ上方に設置された行動検知カメラが商品登録時の物体の行動を検知し、バーコードスキャナの読み取りデータと照合することで、従来検知が難しかった巧妙な不正利用もリアルタイムで検出します。

今後チェーン店の業務効率化が加速する中、限られた人員で接客品質を落とす事なく、防犯・セキュリティのレベルを向上する必要があります。日本 NCR コマースは、デジタル技術の融合と海外での先進事例をいち早く国内へ展開するスピードを強みとして、少しでも皆様のお役に立てればと思います。

新会員あいさつ

●新規正会員

 **セーフィー株式会社** 代表取締役社長 CEO 佐渡島 隆平

セーフィー株式会社は、クラウド録画サービス「Safie（セーフィー）」の開発・運営および関連サービスの提供を行っております。「Safie」はカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェア No.1^(※1)のサービスです。

2014年10月に創業し、10周年を迎えます。「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

「映像データであらゆる産業の“現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。小売やサービス業界における盗難被害への対策や遠隔臨店の体制作りに活用いただいています。

■データガバナンスに関して

セーフィーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。


●新規賛助会員

 **株式会社パトライト** 営業本部 アカウント営業部 東京アカウント営業2課 奥田 雅大

株式会社パトライトは光／音製品を通じ様々な業界の様々なシーンで採用され、おかげ様で日本国内市場70%のシェアのマーケットシェアをいただくメーカーでございます。

製品群としては「光」「音」「文字」を活用した報知機器で、生産現場やオフィス、緊急車両などの幅広い分野へ、見える化にまつわる機器やかんたんIoTソリューションを提供しております。

これからもパトライトは、築き上げてきた製品や当社の魅力を、より効率的に、分かり易く、広く、早くお客様にお届けすることができるように、営業・マーケティングのDX化にも力を入れ、新たな時代のものづくりやサービスの現場の課題に対して、ソリューションコンボプロバイダーとしてさまざまなパートナーと協業し、お客様の課題解決に対し、「安心・安全・楽楽」をモットーに貢献してまいりたいと考えております。

 **株式会社アスタリスク** 代表取締役 鈴木規之

株式会社アスタリスクは、スマートフォンを活用したバーコード・RFIDの読み取り技術、顔認証や動体追跡技術を用いたハードウェアの研究開発、そしてソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが提供する技術は、バーコード・RFIDを活用した在庫管理システム、スマートフォンによる現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)、RFID技術や顔認証・動体追跡技術を利用したセミセルフレジ、さらには顔認証技術を利用した扉の開錠システムや決済システムなど、多岐にわたります。

当社グループの技術・サービスは、卸売業界・小売業界・物流業界・製造業界・医療業界など、幅広い分野

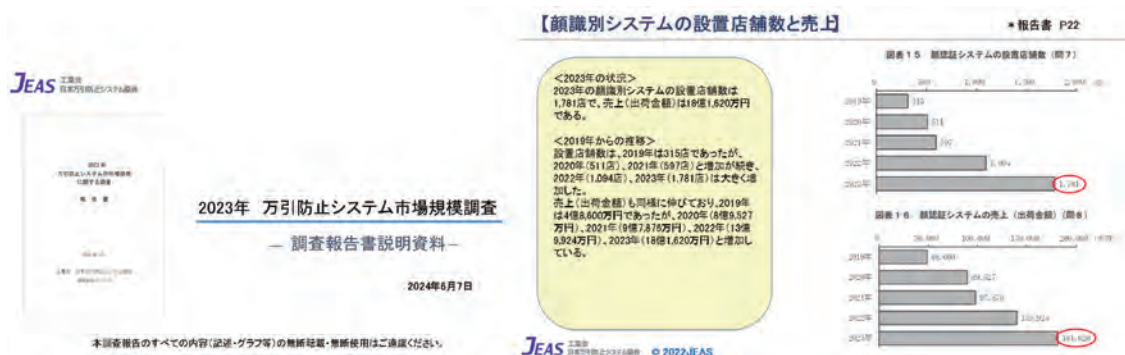
でご活用いただいております。特に、セキュリティ強化や業務効率化を求める企業様から高い評価をいただいております。

当社グループの「人類社会の進歩発展に貢献する」という理念のもと、革新的な技術で安全・安心な社会の実現を目指すと同時に、お客様のビジネスを次なるステージへと導くお手伝いをいたします。

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

2023年万引防止システム市場規模調査

総会では、2023年万引防止システム市場規模調査の報告がありました。EAS 機器に関しては回復基調であり、顔認証システムはこの5年で市場が約4倍に成長しております。報告書は会員ページの b_32に格納されております。



理事会15分勉強会

☆4月25日(金) 摺田政策・研究委員長より「映像解析技術とLLM(大規模言語モデル)を利用したリテール業向け来店状況分析とレポート作成」(NEC社)を説明いただきました。

☆7月12日(金) 株式会社ファーマ総研 代表取締役(薬剤師)、次世代薬局研究会2025元理事 吉村磯孝様にオーバードーズ問題の講義をいただきました。

ロス対策士情報とJEAS報奨制度について ~各分野で活躍するロス対策士~ 副会長 近江 元

全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に付けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS会員など多数の方々方がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

さて、JEASでは、ロス対策士検定試験の受験を促進するためにJEAS会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度(図書カード進呈)を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

◆JEAS企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf>

◆ロス対策士検定試験は年3回予定されており、詳細は、全国万引犯罪防止機構の

ホームページをご覧ください。<https://www.manboukikou.jp/exam-about/>



☆新たな知識と情報を共有に向けたフェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティが好評です！フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。

ロス対策士コミュニティ



工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
- 小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間の会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間の会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
- ◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



編集後記・事務局だより

皆様、こんにちは。今年は例年に比べて関東地方の梅雨入りが遅く、気づけばあっという間に終わってしまいました。この事務局だよりを書いているのも、そんな梅雨が終わった猛暑日の昼下がりです。

さて、まずはスポーツの話題から。今年のメジャーリーグでは、開幕と共に通訳の方の問題が発生し、少々混乱や動揺もあったかと思いますが、大谷選手は順調にホームランを量産していますね。オールスターでも豪快なアーチを披露してくれました。パリ五輪も開幕し、世界中のアスリートたちが華やかな祭典を繰り広げています。時差を忘れて見入ってしまう方も多いのではないのでしょうか。夏の甲子園では、猛暑の中で白球を追い求める球児たちの熱戦が続いており、毎年のことながら彼らの姿に感動させられます。

特に今年の暑さは、これまでの夏と比べても異常で、従来の常識では対応しきれない状況です。

当工業会においても、会員企業の皆様と共に、従来の枠にとらわれない活動を通じて、安心・安全の提供に努めてまいります。今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

理事・事務局長 田丸典億



8月2日の電波つてすごい👍ゲルマニウムラジオ手作りセミナーに参加した少年少女に贈るバッチです。

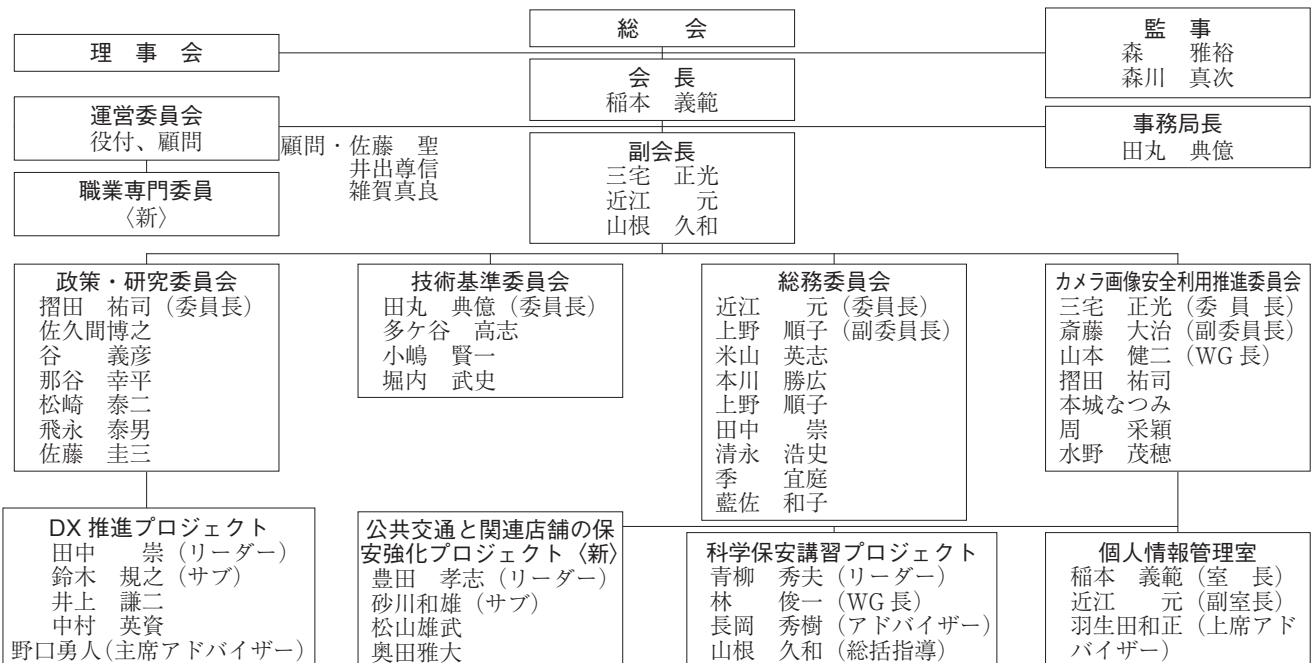
令和6年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易 (株)	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	副会長	セフトHD (株)	代表取締役社長	山根久和
5	理事 (政策・研究委員会)	IDEC ファクトリーソリューションズ (株)	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
6	理事 (政策・研究委員会)	(株) キャトルプラン	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 (政策・研究委員会)	(株) セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事 (政策・研究委員会)	(株) 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 (政策・研究委員会)	日本電気 (株)	スマートリテール統括部 映像アナリティクスグループ	摺田祐司
10	理事 (政策・研究委員会)	ビブリオテカ・ジャパン (株)	営業部部長	松崎泰二
11	理事 (総務委員会)	マイティキューブ (株)	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 (総務委員会)	(株) エイジス	コーポレート本部 事業開発 アライアンス担当部長	米山英志
13	理事 (総務委員会)	N E C ソリューションイノベータ (株)	AI・データアナリティクス事業部 第四グループ KAOATO グループ主任	上野順子
14	理事 (事務局長、技術基準委員会)	タカヤ (株)	事業開発本部 R F 事業部 営業部 S S 担当マネージャー	田丸典億
15	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	グローリー (株)	リテールソリューション 販売支援部	山本健二
16	理事 (カメラ画像安全利用 推進委員会)	リアルネットワークス (株)	営業部長	斎藤 大治 (新任)
17	理事 (カメラ画像安全利用 推進委員会)	(株) GeoVision	副社長	周 采穎 (Joy Chou) 新任
18	理事 (DX 推進プロジェクト)	日本 NCR コマース (株)	マーケティング本部マネージャー	井上 謙二 (新任)
	監事	Matsuo Sangyo (株)	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ (株)	シニアアカウントマネージャー (リテール)	森川真次

敬称略・順不同

顧問 佐藤 聖 元 (一財) 元流通システム開発センター 調査部長
井出尊信 高千穂交易 (株) 代表取締役社長
雑賀真良 元 (株) オカムラ商環境事業本部 セールスサポート部 (新任)

令和6年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



つながる心が生む新世界～協働防犯～

～ 防犯民主主義実現に向けて ～

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

工業会 日本万引防止システム協会

正会員 (正会員数 45社)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| アイアンドティテック(株) | セーフィー(株) |
| IDECファクトリーソリューションズ(株) | CIA(株) |
| AWL(株) | (株)GeoVision |
| アクセスコミュニケーションズ(株) | シグマ(株) |
| アースアイズ(株) | セコム(株) |
| (株)アジラ | セフトHD(株) |
| アドセック(株) | 高千穂交易(株) |
| (株)エイジス | タカヤ(株) |
| NECソリューションイノベータ(株) | チェックポイントジャパン(株) |
| エム・ケー・パビック(株) | (株)店舗プランニング |
| 企業警備保障(株) | 日本アクア開発(株) |
| (株)Casley Deep Innovations | 日本NCR(株) |
| (株)キャトルプラン | 日本電気(株) |
| (株)杏林社 | ネクストウェア(株) |
| Dahua Technology Japan(同) | HIKVISION JAPAN(株) |
| グローリー(株) | パナソニック コネクト(株) |
| (株)ゴジョウ・ウェイズ | 富士通フロンテック(株) |
| (株)KSM | ビブリオテカ・ジャパン(株) |
| (株)サイエンスアーツ | マイティキューブ(株) |
| サクサ(株) | (株)三宅 |
| 三和コンピュータ(株) | リアルネットワークス(株) |
| (株)JSS | Loss-Controls(株) |
| (株)セキュリティデザイン | |

賛助会員

- | | |
|------------|---------------|
| (株)アスタリスク | チェスコムアドバンス(株) |
| (株)アスラポ | (株)NICCOサポート |
| 垂細亜印刷(株) | (株)日本保安 |
| (株)自己啓発協会 | (株)パトライト |
| (株)セキュアリンク | (株)UACJ |
| 三愛化成商事(株) | (株)ロケット |

特別会員

- 一般社団法人 ソフトウェア協会
- 公益社団法人 日本防犯設備協会
- 一般社団法人 日本自動認識システム協会
- 一般社団法人 全国警備業協会
- NPO法人 全国万引犯罪防止機構
- 関西万引対策連合会
- 一般社団法人 リテールAI研究会
- タグ&バック事務局
- 一般社団法人 ロスプリベンション協会

お陰さまで全会員数が66組織になりました。

(2024年7月12日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会 委員長・副会長 三宅 正光



小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会 委員長・事務局長 田丸 典億



平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ①対ペースメーカー等との干渉実験
- ②電磁界測定 ③電気用品安全法対応
- ④各種の基準作り

政策・研究委員会 委員長・理事 摺田 祐司



JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会 委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会 会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

イベント情報

詳しくはJEASのHomepage & Facebookにて

- 10/17(木) 10/18(金) 「SECURITY SHOW 大阪 2024」に出展
- 11/15(金) 第4回科学保安検定講習会を開催

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第41号

□発行日：2024年8月8日 □発行人：稲本義範
□発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。